

ごんだ（柿）の見える美しいむらづくり

—景観保全機能—

NPO法人 ^{しょうおうじ} 正応寺ごんだの会



やっさごんだ（安久柿）

自治公民館を中心にむらづくり活動が始まり、正応寺地区住民が話し合いを重ねながら「やっさごんだ（^{やすひさかき}安久柿）」の見える風景の復元に取り組み、平成18年には、集落営農を法人化し「NPO法人正応寺ごんだの会」を立ちあげた。

当法人では、かつて栽培が盛んであった小型の渋柿「ごんだ柿」に由来する「ごんだ」を商標登録し、農林畜産物の生産、加工、販売など行うとともに、農作業体験学習、自然観察、史跡探訪ウォーキング等各種イベントを開催するなど、環境景観を保全しながら地域活性化に努めている。



^{みやこのじょう} 宮崎県 都 城市

【景観の保全】

かつて地域における柿の名産地として知られ、正応寺地区の風景を求め遠くから見物客も訪れていたほどであった風景を、5種類、1,000本の柿を植栽管理し復元。また、古い農家を「農家伝承の家」として移築・整備、道路や集落内の木の剪定をして、子ども達でも安全な明るい環境づくりを行っている。

【地域社会の振興】

史跡など地域の資源を活かした各種イベントを開催し、広く都市住民にも参加を呼びかけている。また当法人は自治活動から始まったものであることから、さらなる地域の活性化を図るため同法人の集落営農部会を発展させて「(株)ごんだ農産」を設立し、農林畜産物の生産、加工、販売などを行っており、商標登録した「ごんだ」の名称を使用し販売している。

【体験学習と教育】

子ども達を中心に稲作作業や里芋収穫の体験、水田の機能や畑地かんがいの仕組みなどの学習、地元農産物の調理体験等を行うイベント「農業体験塾」を毎年開催している。

【伝統文化の継承】

「農家伝承の家」を拠点に干し柿、味噌、醤油の製法、伝統料理等農家の伝統的暮らしを伝えている。 【令和2年度更新】



農産物を生産、加工してイベントや直売所等で販売



農作業体験学習



農産物の生産



交流の拠点「農業伝承の家」